



✓ 敷地とコンセプト

敷地は、三重県津市
上浜町、江戸橋駅近く
の面積1,077m²の
第一住居地域でござい
ます。規模は10世帯
を想定しました。



より快適に使われる
心地よい空間とは何か
を考えてその答えは、
時間を感じられる建築
だと思いました。

時間を感じることに
よって、忙しい日常の
中で一日をより大切に
記憶し、その瞬間を
愛することができるように
なると思いました。そして、
その時間を感じさせて
くれるのは自然だと思います。

風が通り、日差しが差し込み、雨が落ちる等、
自然はすき間から建築の中に入り込んできます。
なので、4×4×4のユニットを最小単位として設定し、
状況に応じて組み合わせることで、敷地内に
不規則で自由な空間を作りました。その空間のすき間から自然が入り込み、
日々変化する自然の気配を感じられることが一つのコンセプトです。

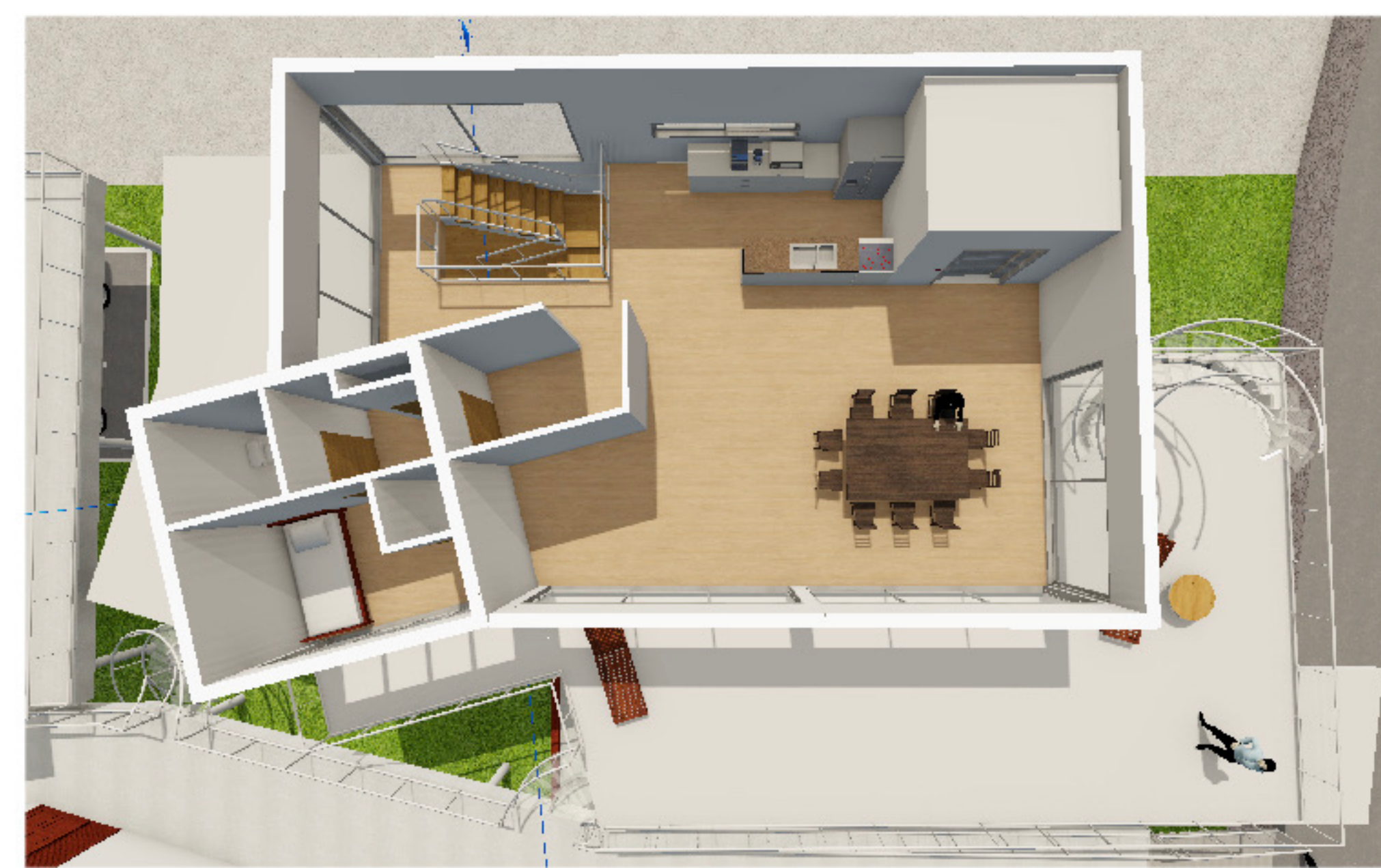
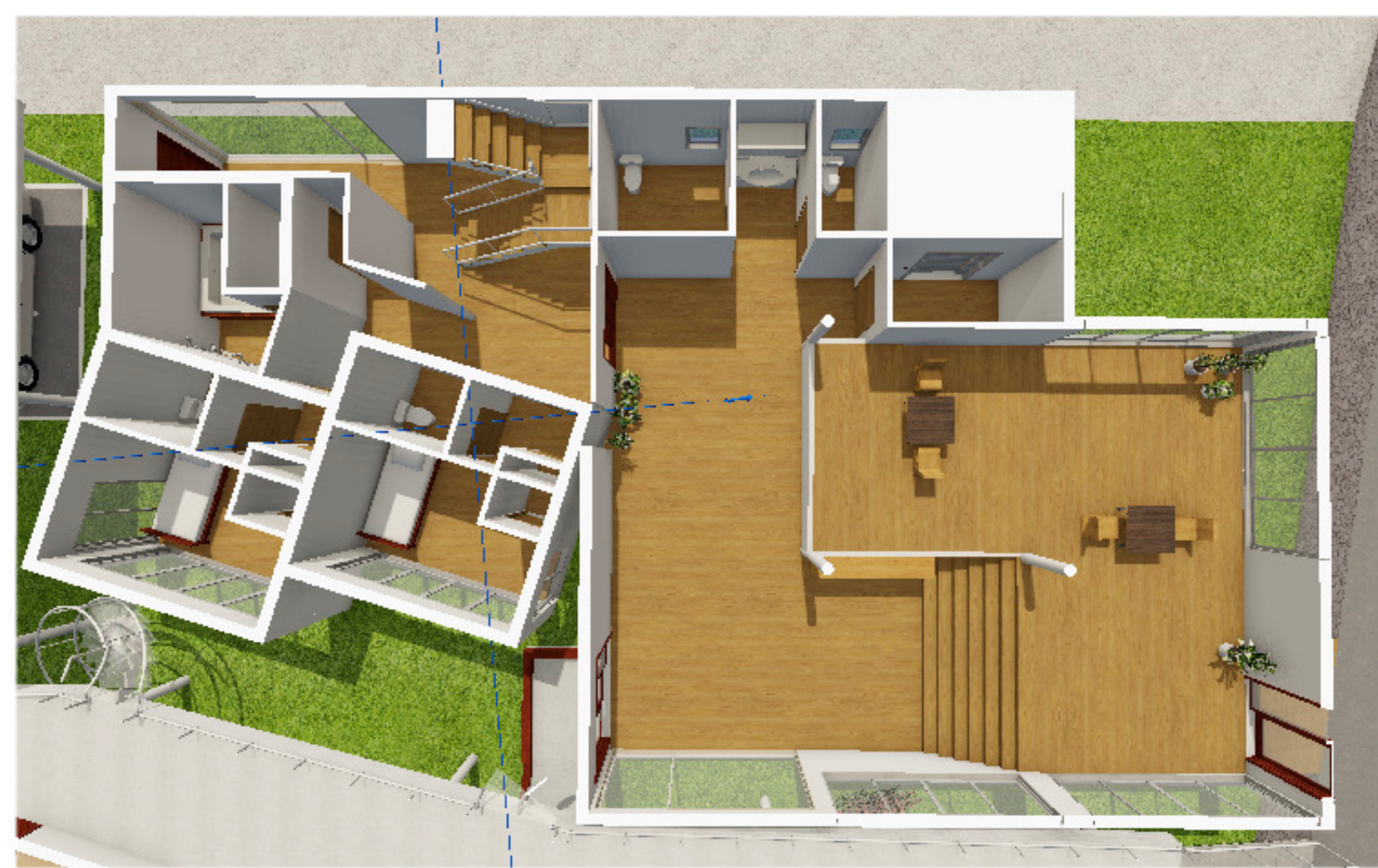
二つ目のコンセプトは、東側の高低差をつなぐ開かれた
空間です。中央ユニットをピロティの上に配置することで、敷地を
通り抜けることができるオープンスペースとして計画しました。

特に、コモンスペースの1階は地域に開放し、住民と地域がつながる
コミュニティの場となることを計画しました。

TETRIS 10 『街に繋がるコモン』

✓ コモンスペース

1階は地域に開放し、まちとゆるやかに
繋がるセミパブリック空間としました。
2階は住民のため共用リビングとして、日常
を共に過ごし支え合う場を計画しました。
3階は屋上庭園を計画し、季節や自然の
変化を感じる暮らしを提案します。



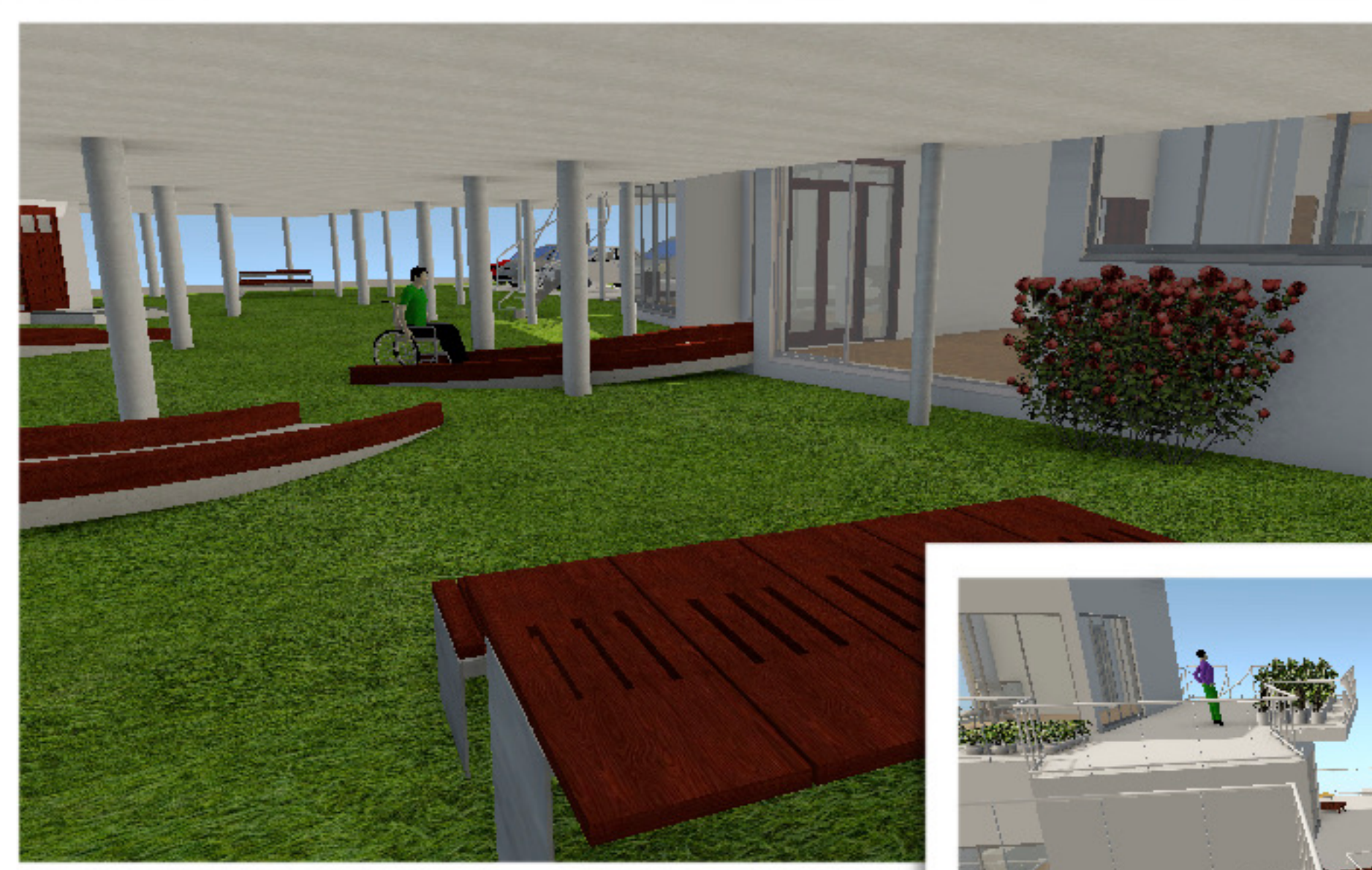


✓ まちのラウンジ

地域に開かれ、まちとつながる入口となる空間です。本やベンチを設け、カフェのように誰でも過ごせる心地よい場として計画しました。使い方を限定せず、使い手が完成させる余白を残しています。ピロティやスキップフロアを通じて外部と繋がり、交流を生み出します。

✓ みんなのリビング

住民が日常を共に過ごし、支え合うための共用リビングです。1・2階にまたがる認知症の方々の住戸と上下でつなげ、スムーズなアクセスを確保しました。また、広いテラスを設け、みんなが心地よく過ごせる屋外空間も計画しました。さらに、屋外階段を使って屋上庭園へつながる動線も計画しました。



✓ 多様な緑

4×4×4のユニットを不規則に組み合わせることで、多様な動線を生み出し、偶然な出会いや色々な関係の形成ができるようになると思います。ひとつの空間に複数のレイヤーが重なり、多様な使い方や暮らし方が展開される、新しい集合住宅のかたちを提案します。

